

第22回

日本地域薬局

THE JAPANESE SOCIETY OF COMMUNITY PHARMACY

薬学会年会

薬剤師職能

更なる高みへ

[開催日] 2018年6月30日(土)・7月1日(日)

[場所] 昭和薬科大学

東京都町田市東玉川学園3-3165
TEL:042-721-1511

1ST 6月30日(土) 13:00~17:00

スポーツファーマシスト 職能の可能性

～ラグビーワールドカップ、オリンピック・パラリンピックホスト国として～

アスリートに対して薬に関する正しいアドバイスをし、アスリートがクリーンな状態で競技に臨めるようサポートするスポーツファーマシスト。世界最高の競技大会の開催国として更にその重要性が高まる今、スポーツに関わる薬剤師職能の可能性を探求します。

講師

日本アンチ・ドーピング機構
専務理事

浅川 伸 先生

スポーツドクター

野田 晴彦 先生

日本ラグビーフットボール協会
スポーツファーマシスト

関水 康成 先生

アスリート (北京オリンピック 競泳出場選手)

内田 翔 先生

トレーナー (国士館大学理工学部 准教授)

地神 裕史 先生

2ND 7月1日(日) 9:00~17:00

見つめ直そう 在宅支援チームとしての 薬剤師職能

患者さんが安心して自宅で生活するためには、医療と介護のチーム連携が必須です。そのチームの一員として、私たち薬剤師への期待が高まっています。しかし、全ての薬局が在宅訪問に参画しないと、地域包括ケアシステムは稼働しません。この問題と在宅支援チームの必要性について考えます。

講師

めぐみ在宅クリニック 院長

小澤 竹俊 先生

国立成育医療研究センター 薬剤部長

石川 洋一 先生

(公)東京都薬剤師会 副会長 昭和薬科大学 学長

大木 一正 先生 西島 正弘 先生

町田市
ケアマネジャー連絡会
会長

齋藤 秀和 先生

町田市鶴川第2
高齢者支援センター
センター長

松坂 剛志 先生

日本地域薬局薬学会 第22回年会 スケジュール

開催日 2018年6月30日(土)、7月1日(日)

開催地 昭和薬科大学

住所 東京都町田市東玉川学園3丁目3165番地

主催団体 日本地域薬局薬学会

テーマ 「薬剤師職能 更なる高みへ」

年会頭 瀬谷 雅行 (綾部ファーマシー 代表)

※ 年会の参加により研修センター認定シール 土曜日2点、日曜日4点発行

6月30日(土)

13:00 開会挨拶

13:10~15:40 シンポジウム I

「スポーツファーマシスト職能の可能性」

～ラグビーワールドカップ、オリンピック・パラリンピックホスト国として～

(講師の先生方から各30分の講話)

アスリート 北京オリンピック 男子競泳リレー 7位入賞 内田 翔 先生

トレーナー 国土館大学理工学部 健康医工学 准教授 地神 裕史 先生

スポーツドクター 野田 晴彦 先生

スポーツファーマシスト (日本ラグビーフットボール協会) 関水 康成 先生

日本アンチ・ドーピング機構 専務理事 浅川 伸 先生

15:50~16:30 SGD、

16:30~17:00 発表及びシンポジストからの総評

17:30~19:30 懇親会

7月1日(日)

9:00~11:00 一般演題

11:00~12:00 教育講演

「薬局に求められる機能とあるべき姿(仮)」

昭和薬科大学 学長

西島 正弘 先生

12:10~13:00 ランチョンセミナー

LS-A 「在宅患者における睡眠導入剤適正使用方法(仮)」(150名予定)

LS-B 「ビブリオバトルを用いた薬局の地域貢献(仮)」(30名予定)

13:00~13:15 総会

13:15~14:00 ポスター発表

14:00~15:00 特別講演

「死を前にした人にあなたは何ができますか」

めぐみ在宅クリニック 院長

小澤 竹俊 先生

15:10~17:00 シンポジウムII

「見つめ直そう在宅支援チームとしての薬剤師職能」

(パネリストの先生方から各20分の講話)

町田市鶴川第二高齢者支援センター長 松坂 剛志 先生

町田市ケアマネジャー連絡会会長 齋藤 秀和 先生

(公)東京都薬剤師会 副会長 大木 一正 先生

「小児医療における在宅医療の必然性(仮)」

国立成育医療研究センター 薬剤部長 石川 洋一 先生

パネルディスカッション(30分)

17:00~17:30

優秀発表表彰、閉会、次年度年会頭挨拶

学会参加申込要領

※学生、大学院生の方は、受付にて学生証のご提示をお願い致します。

申込方法

本年会への参加申込は、電子メールにてお願い致します。メール内容はページ下の記入例を参考にして作成してください。

送信メール（例）

【送信先】 nenkai@jscp.info

【件 名】 第 22 回日本地域薬局薬学会年会 参加申込

【本 文】

- (1) 参加申込内容： （ 一般 / 大学院生 / 学生 ）
- (2) 参加者名： 地薬 太郎（チャク タロウ）
- (3) 所属先名： ○○大学△△学部●●研究室 / ○○株式会社 △△部
- (4) 所属住所（個人の場合は自宅）： ○○県△△市●●町 1 - 2 - 3
- (5) 連絡先電話番号： ○○-△△△△-●●●●
- (6) 連絡先メールアドレス： chiyaku@△△△.jp
- (7) 会員登録状況： （ ）
- (8) 一般演題発表： （ 希望 / 希望しない ）
- (9) 懇親会参加： （ 参加 / 不参加 ）

※ 参加費の振込先

【銀行名】 みずほ銀行・玉川学園前支店（店番号 5 4 9）

【口座番号】 普通 1 0 9 5 1 5 8

【口座名義】 第 2 2 回日本地域薬局薬学会年会

一般演題発表申込要領

1. 一般演題（口頭・ポスター発表）募集要項

発表者は日本地域薬局薬学会の会員であることが必要です。発表内容は、メインテーマや地域医療に関わることなど、どのようなテーマでも結構です。また、発表筆頭者は発表形態にかかわらず1人1演題に限らせていただきます。なお、発表形態は希望できますが演題発表が応募多数となった場合は、発表形態の変更や採択演題を年会実行委員会の選考により絞らせていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。

抄録原稿は、2. 抄録執筆要綱に従って作成してください。

作成した抄録原稿ファイルは、年会事務局宛での電子メールに添付して送信してください。文字化けなど送信エラーの場合は、後日 CD での郵送をお願いします。また、送付いただく際のメール内容は、下記の例を参考に作成してください。

送信メール（例）

【送信先】nenkai@jscp.info

【件名】第22回日本地域薬局薬学会年会 一般演題申込

【添付】抄録原稿ファイル

【本文】

発表者名： 地薬 花子 （チヤク ハナコ）

所属先名： （株）地薬

連絡先電話番号： ○○-△△△△-●●●●

連絡先メールアドレス： chiyaku@△△△.jp

希望発表形態： （ 口頭 / ポスター ）

以上

一般演題申込・要旨原稿締切： 2018年5月18日（金）必着

2. 抄録執筆要綱

1) 基本設定

- (1) 原稿は Word で作成する。原稿ファイル名は以下の通りにする。
 - ・第 22 回地薬年会（口頭）氏名
 - ・カッコ内は発表形態（口頭／ポスター）、氏名はフルネームを記載
- (2) A4 サイズ 1 枚にまとめ、余白の設定は上下左右 2 cm、行数は 40 行とする。
- (3) 原稿は横書きとする。
- (4) 文体は口語体とする。

2) 原稿の体裁

(1) 演題

フォントは MS ゴシックを使用し、フォントサイズは太字 14 ポイントとする。
配置は中揃え

(2) 研究者名・所属機関

フォントは MS ゴシックを使用し、フォントサイズは太字 12 ポイントとする。
発表者の前に○を付けること。発表者名、共同発表者名の右肩に小さく該当番号を振り（上付き）、発表者所属機関名の前にその番号を入力すること。

(3) 本文

フォントは MS 明朝を使用し、フォントサイズは 12 ポイントとする。文字数は全角 1,000 字以内とする。通常の科学論文の体裁に従い、【目的】【方法】【結果】【考察】等に分けて簡潔に記載すること。

要旨作成例

事前学習における薬局薬剤師との連携 → (MS ゴシック・太字 14 ポイント)

○昭和太郎¹⁾、町田花子²⁾、・・・・ → (MS ゴシック・太字 12 ポイント)

1) 昭和薬科大学、2) 町田薬局、・・・・ → (MS ゴシック・太字 12 ポイント)

【目的】 → (MS 明朝・11 ポイント)

薬学教育 6 年制の長期実務実習を充実したものにするために、事前学習の果たす役割は大きく、効果的な学習プログラムの構築は重要な課題である。本学では、・・・

【方法】

【結果】

【考察】

3. シンポジウム、一般演題発表で口頭発表をされる先生方へ

1) 発表機材について

シンポジウムおよび口頭発表で使用するスライドは、液晶プロジェクターを使用して映写します。原則として年会実行委員会で準備したパソコン（Windows10/PowerPoint2013）を使用し、操作は講演される先生方で行っていただきます。当日は、発表スライドデータをUSBメモリースティックに保存してお持ちください。Windows以外のPCで作成された場合には、必ずWindows10/PowerPoint2013で発表いただけますようデータの変換・動作確認のうえお持ちください。

2) 発表時間

- ・シンポジウム発表 1演題 20～40分（発表、質疑応答5分）
- ・一般発表（口頭） 1演題 15分（発表12分、質疑応答3分）

4. ポスター発表をされる先生方へ

1) 発表準備

ポスター掲示サイズ W 90mm × H 1800mm（演題帯を含む）

ポスター掲示板イメージ

2) ポスター掲示及び撤去時間

ポスター会場：昭和薬科大学

貼付時間：6月30日（土）12:00～13:00

説明時間：7月1日（日）13:00～14:00

撤去時間：7月1日（日）16:00～17:00

※撤去時間を過ぎて掲示されているポスターに関しては、実行委員会にて処分いたします。